

名古屋大学大学院環境学研究科・講師または准教授公募要領

1	募 集 件 名	准教授または講師の公募（女性限定）	
2	所 属	大学院環境学研究科 社会環境学専攻 社会学講座	
3	募 集 内 容	<p>[職務内容]</p> <p>広く地域社会や環境に関わる社会学の分野において、環境学研究科の中長期ビジョンに貢献する教育と研究を行う（教育・人材育成：先端のおよび文理融合型の環境学教育を推進し、環境分野の仕事に携わる人材と幅広い知識を持つ専門家の育成を担う。研究：社会環境学の学理を深めるとともに、学際的研究や企業、政府・自治体、NPO 等との連携を推進し、環境問題への社会的アプローチにかかわる国内研究拠点の形成、また文理融合型環境研究のフロンティアの拡充を担う）。とりわけ大学院生の研究指導に意欲的に取り組むこと、また、環境学研究科附属持続的共発展教育研究センターなど、研究科内外における共同研究と、教育・研究に関連する国際交流に主体的にかかわることが期待される。</p> <p>担当授業科目（予定）は、大学院環境学研究科（博士前期・後期課程）の社会学と関連分野に関する講義とセミナー、情報学部人間・社会情報学科の社会学に関する講義、演習、実習、および全学共通教育の社会学に関する講義。</p>	
		<p>[勤務地]</p> <p>（雇入れ直後）愛知県名古屋市千種区不老町 （変更の範囲）東海国立大学機構が指定する就業場所</p>	
		[募集人員] 准教授または講師（任期無）・1 名	
		[着任時期] 2026 年 10 月 1 日以降（応相談）	
4	募 集 研 究 分 野	大分類	社会学およびその関連分野
		小分類	社会学
5	勤 務 形 態	<p>常勤（年俸制）</p> <p>契約期間：期間の定めなし</p>	
6	応 募 資 格	<p>[必要な特定分野の資格・条件（学位などを含む）・専門性等の詳細]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女性であること ・博士の学位を有すること ・広く地域社会や環境に関わる社会学を専門分野として、定性的研究もしくは定量的研究において優れた研究実績を有すること ・環境学研究科での教育・研究指導（社会調査の指導を含む）を担えること ・地球規模課題の解決に資する文理融合型の共同研究に主体的に取り組めること ・教育・研究指導のために十分な日本語能力を有すること、また、必要に応じて英語で教育・研究指導がおこなえること 	
7	待 遇	<p>[採用後の待遇（給与、勤務時間、休日、雇用期間、保険等）]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東海国立大学機構職員就業規則の定めるところによる。 https://education.joureikun.jp/thers_ac/act/frame/frame110010928.htm ・給与は東海国立大学機構名古屋大学年俸制適用教員給与規程において定める年俸制とする。 https://education.joureikun.jp/thers_ac/act/frame/frame110001585.htm ・専門業務型裁量労働制により、1 日 7 時間 45 分働いたものとみなされる。 	

		<ul style="list-style-type: none"> ・休日：土・日曜日、国民の祝日、年末年始（12月29日～1月3日） ・加入保険：文部科学省共済組合、厚生年金、労働者災害補償保険、雇用保険 ・受動喫煙防止措置：原則としてキャンパス内は喫煙禁止
8	応募期間	2026年1月12日～2026年3月31日（必着）
9	応募・選考結果通知連絡先	<p>[応募方法（提出書類の送付先）]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 履歴書^注（学歴、職歴、賞罰、学会における活動、社会における活動） 2) 業績リスト^注（査読論文、その他論文、講演・口頭発表等、書籍等出版物、受賞歴、競争的資金等の研究課題、指導歴・担当経験のある科目、委員歴、その他（社会貢献項目等）。論文等の書誌情報はそれぞれ過不足なく記載すること。また、指導経験として博士前期及び後期課程の修了者（主査及び副査）がいれば、指導歴の欄に記載すること。） 3) 主要な著書・論文の別刷またはコピー（合わせて3編以内、著書の場合は現物も可とする） 4) 現在までの研究・教育・社会活動の概要（A4、書式・枚数は任意） 5) 今後の研究計画（A4、書式・枚数は任意） 6) 今後の教育に関する抱負（A4、書式・枚数は任意） 7) 類型該当性の自己申告書（様式1）^注（「10みなし輸出について」参照） <p>以上の書類を紙媒体ではなく、PDFファイルで作成し、それを収めたCD・DVD・USBメモリ等を、「社会学講座教員応募書類在中」と朱書き（表面）した封筒に封入の上、応募期間内（必着）に下記宛に簡易書留等で郵送すること。なお、主要業績に書籍がある場合は、書籍現物を提出すること。</p> <p>注）上記1)の履歴書、2)の業績リスト、7)の類型該当性の自己申告書については、名古屋大学が定める所定の様式 （https://nuss.nagoya-u.ac.jp/s/8btBgT5JCKzdS2D） で作成し、提出すること。</p> <p>[提出書類の送付および問い合わせ先] 〒464-8601 名古屋市千種区不老町 名古屋大学大学院環境学研究科 丸山康司 Tel.: 052-789-4741 Email: ym@nagoya-u.jp</p>
		<p>[選考内容（選考方法、採否の決定）]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・書類選考の上、2026年5月に面接を実施する予定。 ・面接実施者については、電話または電子メールで連絡をおこなう。上記の履歴書中に、電話番号・電子メールアドレス等、連絡先を必ず記載すること。
10	みなし輸出について	<ul style="list-style-type: none"> ・2021年11月「外国為替及び外国貿易法」（外為法）に基づく「みなし輸出」における管理対象の明確化に伴い、大学・研究機関における教職員への機微技術の提供の一部が外為法の管理対象となりました。これに伴い、本公募に応募の際、「類型該当判断のフローチャート」に基づく「類型該当性の自己申告書」の提出が必要となります。また、採用時には「誓約書」の提出が必要となります。
11	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・提出された書類については、本選考以外の目的には使用しない。 ・郵便事情等によって応募書類（CD・DVD・USBメモリ等やその中のファイル）の破損が疑われるときには、電子メール等によって応募者に確認することがある。 ・応募書類は、本選考委員会が責任を持って処分し、返却しない。ただし、主要業績として提出した書籍の返却を希望される場合は、必ず返信先を記した返信用の

	<p>封筒を同封すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・面接に要する費用（交通費・宿泊費等）は支給しない。 ・本学では、多様性の推進やワークライフバランスの促進に、積極的に取り組んでいます。詳細については以下の URL をご覧ください。 <p>ジェンダーダイバーシティ Web サイト：</p> <p>https://www.kyodo-sankaku.provost.nagoya-u.ac.jp/</p> <p>ダイバーシティ、エクイティ、インクルージョン & ビロッキング (Diversity, Equity, Inclusion & Belonging: DEIB) 推進宣言：</p> <p>https://www.thers.ac.jp/about/declaration/deib/index.html</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出産・育児・介護・病気等の理由により、過去に研究活動を中断・遅延した期間があれば、その点を履歴書に記載することができます。本学ではそれを記載したことにより、不当な評価を受けることはありません。
--	---